



泉岳寺には赤穂浪士四十七士が眠る。

「時は元禄十五年十二月十四日 江戸の夜風をふるわせて……」と、討ち入りシーンの名調子が浮かぶ。「ふるーい！！」であろうが、日本人であれば、この話を知らない人はいるまい。

今回上京時の宿泊ホテルは「泉岳寺駅前」であり、ここを素通りするというわけにはいくまい。

墓地の入り口で着火済みの線香を一束購入。
多くの参拝者にまじり義士の墓にこれを手向け、手を合わせる。

し残した仕事を終えた安堵感がある。

私も浪花節が染みついた古い日本人だなーと苦笑する。